

第28期第7回常任理事会議事録

日時：1995年3月22日 13時30分～16時20分

場所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：松野、関口、磯部、大西、里村、竹内、田中、中村、新田、藤谷 以上10名

議事：

1. 第28期第6回常任理事会議事録の確認
一部修正のうえ承認

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…転載許可2件（天気、気象集誌）を承認したことを報告。

- 天気、気象集誌、気象研究ノートの入札結果を報告。天気は三報社(94年度と同じ)、集誌はUAP(同)、ノートは日本印刷(新)が落札。

会計…95年2月の収支状況を報告。団体会員等からの会費納入は順調。

- 94年度の収支見通しを報告。TRMM等の受託研究費の出入りを除くと、年度収支は昨年と同様にほぼ均衡する見込み。

天気…3月号の内容及び4, 5, 6月号の予定を報告。

- 95年度の印刷部数を50部増にしたが、落札された1号あたりの95年度印刷経費単価は前年度を若干下回った。
- 和達さんの追悼原稿は3分の1程度集まった。7月号に掲載予定。

気象集誌…4月号は10編の論文を掲載する。

- TOGA-COARE 特別号は28編が完成原稿として揃った。400～500ページで5月末に発行予定。改稿途中のものが7～8編あり、通常号に回す。
- 「大気・海洋のデータ同化」特別号はジャンル別の編集委員を決めた。すべて招待論文とし、31編を予定。ソフトカバーのものを集誌購読者に無償配布する。96年1～2月に発行予定。
- HEIFE 特集号は加藤編集委員(名大)が責任者で、95年10月通常号で発行予定。

研究ノート…「やませ」を183号として刊行。「乾燥地の自然環境」は近々印刷に回す。ノートの印刷の質の改善を図っていく。

講演企画…2月22日に春季大会プログラム編成等のための委員会を開催。331件の申し込みがあ

り、15件を2種から1種に振り替えた。今回から件数制限の措置を取ったが、件数に大きな変化はなかった。秋季大会では2種講演には投稿時期の明記を求めるなど、さらに若干の手直しを予定している。

- 秋季大会の日程は10月18～20日(大阪)と決まった。

教育と普及…奨励金受領者の「天気」への投稿の件はほぼ全員から承諾をもらった。

- 「教養の気象学」改訂は、章建ての変更も含めて大幅にとの意見が多く、次回委員会でさらに検討することになった。
- 「気象科学事典」の企画が書店から気象学会に持ち込まれていた件は、教育と普及委員会で担当することは不可能との結論となった。この件の取り扱いについて常任理事会として討議し、用語辞典の発行は学会として重要な活動であり、将来の出版局構想とも関連する問題との認識では一致したが、今回の企画への対処については具体策をまとめるに至らなかった。継続審議とし、次回理事会の議題とする。

国際学術交流…菊地理事(北大)から96年6月に大阪で開催予定の「第10回大気電気国際会議」の協賛、予算補助についての要請があった件につき、常任理事会として討議。IAMASの関連行事でもあり、気象学会としても深い関連があるとの認識では一致した。国際学術交流委員会とは切り離して対処することとし、理事長がもう少し詳しい情報を聴取することとした。

パソコン通信…2月のアクセス回数416回。

- 95年2月から「気象集誌」のコンテンツサービスを始めた。92～94年については印刷業者(UAP)から総目次ファイルが届き次第掲載する。
- 「フリートーク」にインターネットとの接続要望がきているとの紹介があり、接続問題についての討議資料を担当理事が準備することとする。
- 事務局のパソコンの1台が故障した件は、PC98系の機種で買い換える。

3. 会員の新規加入等について

個人8名, 団体1の入会を承認。個人5名, 団体2の退会を報告。

4. 1995年度学会賞・藤原賞候補者に対する投票結果について

理事総数の4分の3以上である24理事から投票があり, 有効投票の3分の2以上の承認があったため, 学会賞については中島映至会員(東京大学気候システム研究センター),

藤原賞については田中正之会員(東北大学理学部)にそれぞれ授与することに決定。

5. 弔事に関する学会内規の見直し

前回常任理事会の議論をもとに庶務担当理事が用意した改正案について討議。大筋で了承されたが, 『天気』に訃報を掲載する範囲等について出された意見を取り入れ, 庶務担当理事が次回常任理事会に再提案することにする。

6. 1995年度の役員体制について

気象庁の4月1日づけ人事異動に伴い, 所属支部が変更になる理事があることから, 本人, 所属支部

等との調整にもとづく理事体制の変更案が庶務担当理事から提案され, その方向で必要な手続きを踏むことが了承された。佐野(関西地区:大阪管区気象台長), 滝川(九州地区:福岡管区気象台長)の両理事が辞任し, 後任理事候補には, 加藤一靖(関西地区:現気象庁通信参事官), 中山嵩(九州地区:現気象庁業務課長)の両会員を該当支部からの推薦を受けて総会に提案することとする。このために必要な全理事による承認投票等の手続きを早急に行うことを確認。

また, 藤谷常任理事(天気編集担当)を理事とし, 白木理事を常任理事とすること及び天気担当は関口常任理事とする方向も承認され, 5月の全国理事会で承認を求めることとした。

7. 1995年度事業計画案, 予算案について

会員数の変動, 出版関係の予定, 印刷経費の落札結果, 受託研究の見込み等を考慮した収支均衡予算案が提案され, 大筋で了承。次回常任理事会で最終案を作成する。